

第 132 回 地区内中小企業 景気動向調査結果

(2021 年 10 月 ~ 12 月実績)

(2022 年 1 月 ~ 3 月予想)

***** 目 次 *****

地区内データベース	1
全国 ・ 全道の概況	4
調査の概要	5
全業種総合	6
製造業	9
建設業	11
卸売業	13
小売業	15
サービス業	17
特別調査	19

地区内データベース

1. 人口・世帯数動向（令和3年12月末）

町 村 名	人 口			世 帯 数		
	人 数	前年同月比	3 月 末 比	世 帯 数	前年同月比	3 月 末 比
平 取 町	4,659	-126	-53	2,414	-46	-18
日 高 町	11,138	-200	-38	5,959	-49	7
新 冠 町	5,249	-143	-76	2,753	4	-2
新ひだか町	21,381	-485	-88	11,450	-116	24
浦 河 町	11,720	-278	-160	6,580	-68	-38
様 似 町	4,087	-38	-19	2,118	-20	-24
え り も 町	4,428	-89	-29	2,102	-7	7
広 尾 町	6,357	-190	-64	3,237	-53	-15
大 樹 町	5,419	-27	21	2,738	15	20
日高・十勝地区合計	74,438	-1,576	-506	39,351	-340	-39
札 幌 市	1,960,668	-907	-161	1,087,058	8,126	4,781
江 別 市	119,701	-114	199	59,124	439	526
石 狩 市	58,096	-186	-122	28,247	73	3
北 広 島 市	57,771	-359	-219	28,091	115	68
恵 庭 市	70,108	11	114	34,470	334	233
千 歳 市	97,690	-229	587	50,939	149	489
石狩地区合計	2,364,034	-1,784	398	1,287,929	9,236	6,100
苫 小 牧 市	169,528	-677	-280	90,525	533	327
厚 真 町	4,393	-27	-27	2,114	24	2
む か わ 町	7,579	-156	-85	4,006	-58	-51
胆振地区合計	181,500	-860	-392	96,645	499	278
営業区域合計	2,619,972	-4,220	-500	1,423,925	9,395	6,339

*日高町の人口に外国人登録者数は含まれていません

(資料出所：各市町村)

2. 企業倒産状況（令和3年10～令和3年12月中）

単位：件・百万円	件 数	負 債 金 額	件数前年同期比	金額前年同期比
苫 小 牧 管 内	3	48	-2	-467
(内・新冠町～えりも町)	0	0	-1	-150
業種および件数				
地区および件数				
北 海 道	34	2,504	2	-2,918
全 国	1,539	285,746	-212	-33,215

(資料出所：東京商工リサーチ)

3. 労働需給状況

令和3年10月

	浦河 (人・倍)	全道 (人・倍)	前年同月比(%・ポイント)		前月比(%・ポイント)	
			浦河	全道	浦河	全道
月間有効求人数	908	84,535	10.60	4.95	-0.87	4.58
月間有効求職者数	598	84,875	-7.86	1.77	7.36	3.80
月間有効求人倍率	1.52	1.00	0.25	0.03	-0.12	0.01

令和3年11月

月間有効求人数	927	85,968	12.36	7.12	2.09	1.70
月間有効求職者数	641	83,880	-2.88	3.33	7.19	-1.17
月間有効求人倍率	1.45	1.02	0.20	0.03	-0.07	0.02

令和3年12月

月間有効求人数	926	83,021	10.90	6.75	-0.11	-3.43
月間有効求職者数	596	81,612	-5.85	3.48	-7.02	-2.70
月間有効求人倍率	1.55	1.02	0.23	0.03	0.10	0.00

(資料出所：厚生労働省 北海道労働局)

4. 浦河町・新ひだか町静内 金融機関預金・貸出金残高 (令和3年12月末現在)

単位：百万円・%

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	貸 出 金	前年同月比	前 月 比
168,595	1.04	1.01	60,812	1.03	1.01

(資料出所：浦河・静内金融協会)

5. 浦河町・新ひだか町静内 手形交換高

令和3年10月

	当 月	前年同月比 (%)	前月比 (%)
交 換 枚 数 (枚)	117	-22.00	-29.94
交 換 金 額 (百万円)	346	-4.16	-27.16
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和3年11月

交 換 枚 数 (枚)	225	-12.79	92.31
交 換 金 額 (百万円)	449	-9.48	29.77
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和3年12月

交 換 枚 数 (枚)	128	-9.86	-43.11
交 換 金 額 (百万円)	692	11.61	54.12
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

(資料出所：浦河・静内金融協会)

6. 建築確認申請

単位：件数

		件数	前年同期比	前四半期比
当金庫管内 (新ひだか町～広尾町)	3/10～3/12月迄の累計	12	-9	21
	3/4～3/12月迄の累計	72	-3	

(資料出所：各町村)

7. 気象情報

令和3年10月中

	本年			平年偏差・平年比		
	気温(℃)	降水量(mm)	日照時間	気温(℃)	降水量(%)	日照時間(%)
浦河	12.3	125.5	164.8	0.0	106.6	95.7
広尾	11.5	133.5	155.1	0.2	68.7	94.3

令和3年11月中

浦河	8.1	193.0	109.4	2.0	231.4	89.9
広尾	7.2	342.0	112.0	2.0	267.8	75.1

令和3年12月中

浦河	0.7	54.5	113.0	0.6	92.4	99.8
広尾	0.1	100.5	160.2	1.4	110.0	107.2

(資料出所：国土交通省 気象庁)

全 国 ・ 全 道 の 概 況

信金中央金庫がまとめた全国信用金庫の窓口から見た中小企業の景況によると、2021年10～12月期（今期）の業況判断D. I. は△19.7、前期比9.4ポイント改善と、厳しい水準ながら改善が進んだ。収益面では、前年同期比売上額判断D. I. が△3.4と前期比11.1ポイント改善、同収益判断D. I. は△10.6と同6.6ポイント改善した。販売価格判断D. I. はプラス10.4と、大幅上昇しておよそ30年ぶりの水準となった。人手過不足判断D. I. は△20.8と人手不足感は一段と強まった。設備投資実施企業割合は19.9%と前期比横ばいだった。業種別の業況判断D. I. は全6業種で改善した。また、地域別でも全11地域で改善した。2022年1～3月期（来期）の予想業況判断D. I. は△21.1、今期実績比1.4ポイントの小幅低下を見込んでいる。業種別は全6業種中、小売業とサービス業を除く4業種で、地域別は全11地域中6地域で、それぞれ低下見通しにある。

日本銀行札幌支店が12月13日発表した金融経済概況によると、北海道地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている。すなわち、個人消費は、下押し圧力が依然として強いが、一部に持ち直しの動きがみられている。観光は、引き続き厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している。設備投資は緩やかに持ち直している。公共投資は高水準で推移している。住宅投資は緩やかに持ち直している。生産は持ち直しの動きが足踏みしている。輸出は持ち直している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

需要項目別動向

- 公共投資・・・高水準で推移している。公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、高水準で推移している。
- 輸出・・・持ち直している。主要品目別にみると、食料品では持ち直している。輸送用機器等では持ち直しの動きが足踏みしている。
- 設備投資・・・緩やかに持ち直している。12月短観（北海道地区）における2021年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。
- 個人消費・・・下押し圧力が依然として強いが、一部に持ち直しの動きがみられている。スーパー、ドラッグストアは、底堅い動きとなっている。家電販売は、弱含んでいる。乗用車販売は、供給制約の影響から、減少している。コンビニエンスストアは、やや低い水準で推移している。百貨店、サービス消費は、下押し圧力が依然として強いが、緩やかに持ち直している。
- 観光・・・引き続き厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している。
- 住宅投資・・・緩やかに持ち直している。新設住宅着工戸数をみると、持家は持ち直している。貸家は低水準で推移している。分譲は高めの水準で推移している。
- 生産（鉱工業生産）・・・持ち直しの動きが足踏みしている。主要業種別にみると、食料品では、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直しつつある。電気機械では持ち直しの動きが足踏みしている。輸送機械では供給制約の影響から減少している。紙・パルプでは低水準で推移している。
- 雇用・所得・・・労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。
- 物価・・・消費者物価（除く生鮮食品）は、エネルギー価格を中心に前年を上回っている。
- 企業倒産・・・低水準で推移している。